

# 議会報告会 会場報告書

担当班：2班 班代表者：恒田正美

概要			
地区名：雲部地区 日時：平成28年11月16日(水) 19:30~20:40 場所：雲部公民館 参加人数：10人(男10人・女0人)	<b>【出席議員】</b> 恒田正美 河南克典 奥土井帥心 大西基雄 足立義則 前田えり子	(1) 開会あいさつ：恒田正美 (2) 議会報告：足立義則 (3) 質疑応答：下記参照 (4) 意見・提言等：下記参照 (5) 閉会あいさつ：河南克典	挨拶・総括：恒田正美 司会進行：河南克典 報告：足立義則 受付・記録：奥土井帥心 前田えり子 会場(マイク)：大西基雄

## 【主な質疑】

質疑・意見	回答
・DMOの取り組みの状況は。	・組織立ち上げ等に向け準備中であるが、DMOは地方創生の柱であり、議会としても大きな課題として注視しています。
・地域では空き家が多くなっている中、市ではどのような対策を実施しようとしているのか。また、議会はどのような提案をしているのか。	・空き家では雑草が繁茂し、また危険な建物もあることから、空き家の適正管理を行うための条例を制定しています。倒壊の危険があるような建物は、撤去等の対応をしていくこととなります。
・篠山で大きなイベントがある時には、市は篠山川の河川敷を駐車場として利用するが、河川敷はひどく荒れている。河川敷に車を止められなければ、市街地が車であふれることから、河川敷の整備を検討されたい。	・執行部にお繋ぎします。
・城東公民館のトイレの男性用小便器が使いにくい。	・執行部に繋ぐとともに、持ち帰って共有します。

質疑・意見	回答
<p>・ボランティアによる震災の復興支援に対して補助金が出ているが、どのような基準か。城東小学校の児童が熊本へ支援に行ったが、自己負担が5,000円、残りは補助金で賄われている。交通機関にバスや夜行列車を使うことで、震災で苦しい思いをしている人たちのつらさも共有できるのではないか。</p>	<p>・東日本大震災等復旧復興支援活動事業助成金は要綱で定められており、助成対象者は被災地の復旧・復興支援事業を行う団体等で、対象事業としては被災地の復旧・復興支援を目的にした事業等があります。助成金額は基本的には1事業50万円が上限です。城東小学校児童による熊本での支援活動については確認できていませんが、委員会審査においても飛行機でなくバスで行くべきではないかとの意見がありました。</p>
<p>・日本遺産に認定されて市は盛り上がっていると思うが、どこまで日本遺産に本気で取り組んでいく気概があるのか。補助金を丸投げしているように感じられる。</p>	<p>・日本遺産は文化庁から初年度18団体が認定され、まずハード面からの整備との方向でデカンショ館を作り、現在は地方門の移設工事を行っています。日本遺産は基本的には観光に寄与しながら、外国人に来てもらうためのツールとして活用していくことを提案しています。これからは英語が通じる案内人の確保など、ソフト面の整備にかかる状況です。</p>
<p>・自治会内の市道について、穴があれば市から補修材をもらい補修している。財政状況が厳しいと聞いているが、市道の維持補修の状況はどのようになっているのか。</p>	<p>・地域からの要望に基づき、緊急かつ重要な箇所から修繕を実施しています。必要に応じ自治会長名で要望を出してもらえればと考えます。</p>
<p>・集落の中で遊休農地が増えてきた。後継者が農業をせず、大規模農家やグリーンファームに預ける人が増えている。今後の農業を議会としてどのように考えているのか。篠山独自の農業施策が必要ではないか。</p>	<p>・市では農都創造計画を作成中です。多様な担い手を篠山独自に作っていくことが基本的な考え方で、認定農家や集落営農を推進する柱は決まっていますが、ピンポイントで課題を改善することは難しいのが実情です。篠山は特産物に恵まれており、それを活用し若手の新規就農者が増えてきていると聞いていることから、うまく遊休農地が解消できたらと考えます。議会としても大きな課題と認識しています。</p>

質疑・意見	回答
<p>・ふるさと一番会議で出された意見は、反応が早い。一番会議に議員も出席して議会報告会も一緒に実施してはどうか。</p>	<p>・ふるさと一番会議は市長が出席、市長は予算編成権も執行権もあることから、即答や問題の解決もできます。市長が一番会議で市内を回り、それとは別に議会も回るので参加者の負担が大きいとよく聞きますが、報告会は純粹に議会を理解してもらえたらと思っています。議会報告会で住民の生の声を聞くことは、議員自身の勉強にもなり、意義があると思っています。どの議員もすべての行政課題を把握することは難しい中、議会報告会は非常に参考になっています。今回は議会の改選もあり市内 19 地区を回っているが、来年度以降のやり方を検討することとしており、意見は今後に活かしていきたいと考えます。</p>

